

令和7年度 学校経営の改革方針

学校名	津市立西が丘小学校	校長名	田 中 英
児童・生徒数 727人	学級数 28学級	教職員数 60人	

1 めざす学校像

学校教育目標 「心やさしく 創造力豊かな子どもの育成」
～「自分でいい学校」「月曜日が待ち遠しい学校」をめざして～

めざす学校の姿

確かな学力を育む学校
安心して学べる学校
保護者・地域と連携する学校
職員がやりがいを感じる学校

めざす子どもの姿

自ら進んで学ぶ子
自分も人も大切にする子
健康で粘り強く取り組む子

めざす教師の姿

信頼される教師
学び続ける教師
創造する教師

2 現状と課題

校区内に3校の県立高校の他、多くの県立施設が立地する教育環境に恵まれた地域である。児童の多くは、知的好奇心が旺盛で、人とのコミュニケーション力に優れた子もいる一方、学習課題のある子や不登校・いじめなど、他校と同じような今日的な教育課題も併せ持つ。

本校の教育目標をめざすには、まずは、ありのままの自分を認め、自分らしく生きていい、と思えるような学校環境を土台とし、学校生活の大部分を占める日々の授業の充実こそが大切であると考え。よって、副題を「自分でいい学校（人も自分もありのまま認め合える環境づくり）」「月曜日が待ち遠しい学校（次の授業も楽しみと思える授業実践）」とし、子どもも教師・職員も同じ気持ちで学校づくりに臨む。

3 重点目標

- ◎ 子どもが変わっていく授業の改善・充実
- ◎ 安心して自分の思いを出し合える「仲間づくり」
- ◎ 学校と地域が一体となって進める教育の推進
- ◎ 働きがいのある職場環境の改善

4 具体的な行動計画

子どもが変わっていく授業の充実

- ・わくわく・ドキドキする授業を中心とした授業展開の工夫や授業のしかけ等、指導技術の向上。
- ・「誰一人取り残さない」個別最適・協働的な学びの推進
- ・学力調査結果等の検証と改善方策の検討と実践
- ・学習規律の共通理解と共同実践による徹底
- ・1人1台端末の効果的な活用
- ・楽しく、気軽に、持続可能な「津市架け橋プログラム」の推進（近隣幼・保育園との連携・接続）

安心して自分の思いを出し合える「仲間づくり」

- ・多様な子どもたち全てを認め合える集団づくりの推進
- ・人と関わる力を育む異年齢集団活動の充実
- ・組織的な特別支援教育の推進
- ・人のために自分を活かす自治的活動と子どもの発想を活かした特別活動の推進
- ・生命や性を尊重し、差別を許さない力の育成
- ・一人ひとりの居場所づくりにむけた各種調査等による集団の実態把握

学校と地域が一体となって進める教育の推進

- ・学校運営協議会とともに進める学校づくり
- ・積極的情報発信による保護者との共通理解の推進
- ・家庭学習や読書習慣等家庭と連携した取組の推進
- ・安全安心サポーター・民生児童委員・各自治会との連携強化による児童の見守り活動の充実
- ・放課後児童クラブ等との連携強化による児童の居場所づくりの充実
- ・図書館ボランティア（とぼら）との連携強化による読書活動の推進

働きがいのある職場環境の改善

- ・職員一人ひとりのウェルビーイング（身体的・精神的に満たされた状態）及びワークライフバランスを大切にした職場環境づくりの推進
- ・一人当たりの月平均時間外労働時間 30 時間以上、年 360 時間以上の教職員数 0 人
- ・一人当たりの年間休暇取得日数前年比 3 日増
- ・放課後開催及び 60 分以内に終了した会議 8 割
- ・毎週木曜日の定時退校日実施率 8 割及び月 1 回のスーパー定時退校日の完全実施